

学校だより 熱 砂

<発行>
令和2年6月25日
発行責任者：校長
和田 政男

学校はいつから再開できるの？

もう何ヶ月もの間、この問題で頭を悩まされ続けております。学校ではアマル事務長を通じて、私立学校の監督官庁である KHDA に、この点に関する情報を得ようと頻回に問い合わせ続けております。直近の回答では、「報道では“新学年は 8/30 から始まる”とか“9 月に学校が再開”などあるが、全て“噂”に過ぎない。正式なものには KHDA や MOE（教育省）からの通知が全てである」というものでした。

「学校はいつから再開できるか」、現時点で明確なものはありませんが、23 日には KHDA より、「学校再開に向けて」学校が練るべき対策のリストが届きました。例えば、「教室の密を避けること」「集会の制限、スポーツイベントの一時停止」「スクールバスは定員の 30%以下で運行」などの記載があります。

今回のお便りでは、これらの通知を受け、現時点の「想定」をお知らせしたいと思います。

当初の年間計画どおり

8/24 の二学期始業式を想定

2 学期初めはオンライン学習の継続になると思いますが、予定通り 8 月 24 日（月）に（たぶんオンラインで）始業式を行い、2 学期をスタートしたいと考えております。

また、KHDA のホームページからの最新の情報では、「安全面の条件を満たせば、新年度（8/30?9/1?）からの学校再開ができる」とありますので、現時点の想定として、最初の 1 週間はオンライン授業の継続、学校再開の条件を満たす対策を施し、学校再開の許可が出次第、登校を開始したいと考えております。

スクールバスの定員の 30%以下の乗車

分散登校にせざるを得ないか？

スクールバスの定員や、密を避ける対策を考えると、学校が再開しても当面の間「分散登校」は避けられないと思います。

分散登校にも様々な方法が考えられますが、どのような分散登校のやり方が、負担が少ないか、学習の継続性の面で効果的か、様々な場合をシミュレーションして今後定めてまいります。

様々な行事はどうなるの？

集会の制限やスポーツイベント等の中止や延期も指示されております。これらを総合して考えると、

○ 水泳教室は、

スクールバスでの移動や引率教員の数を考えても中止せざるを得ないと考えております。

○ 修学旅行は、

団体旅行の禁止ということですので、これも中止せ

ざるを得ません。

○ 熱沙祭は、

準備や練習を考えると、予定していた 10 月開催は難しいと思います。今後の情勢次第ですが、12 月開催に向けて検討したいと考えております。

○ 運動会は、

その頃にはかつての日常に戻り、例年通り開催できることを期待しております。

日本に居る先生方はいつ着任できるの？

新派遣の先生方の赴任について、現時点では見通しがたっておりません。

学校再開時点で新規派遣の先生方が赴任できていない場合には、G2 に新藤、G8 に和田が学級担任の代わりに務めます。授業については、日本に居る先生方の授業は、教室内に大型モニターとウェブカメラを置き、オンライン学習になるものと想定いたします。

受験等では不利にならないの？

文部科学省では、今回のコロナ禍の影響で休校を行ったり、学習の遅れがあった場合に生徒が不利な扱いを受けることがないように、各都道府県教育委員会や私立学校、大学等に指示をしたとのことです。

本校では、オンライン学習が順調に進んでおり、学習の遅れはないものと判断しております。

また、授業日としてのカウントは出来ませんが、出欠の記録はきちんととっております。

高校受験の調査書等には、備考欄にオンライン学習を行っていたことについて明記するとともに、副申書として休校中のオンライン授業に関し、状況をお知らせする文書を添付することも考えております。

※ お知らせ：学校が運営する Teams に関しては、オンライン学習を推進するためのツールと考えており、保護者間の連絡等には利用しないことを PTA とも申し合わせいたしました。ご協力をよろしくお願いいたします。